

各位

全3ページ  
登録速報(2019-208)  
2019年 9月11日  
クミアイ化学工業株式会社  
企画普及部普及課

## 登録速報

下記の通り適用拡大登録となりましたので、ご連絡します。  
適用拡大登録年月日：2019年 9月11日

### 記

#### 1 農薬の登録番号及び名称

登録番号：第10438号

名称：ダイアジノン粒剤5 (日本化薬(株)登録)(地域限定)

#### 2 変更の内容

農薬登録申請書第7項について、以下のとおり変更し、別紙1とする。

- (1) 作物名「えだまめ」に適用病害虫名「マメシンクイガ」「カメムシ類」「シロイチモジマダラメイガ」「ダイズサヤタマバエ」及び「フタスジヒメハムシ」を追加する。
- (2) 作物名「畑わさび」を追加する。
- (3) 作物名「らっきょう」を追加する。

#### 3 当該変更に伴い、農薬登録申請書の記載事項に変更を生ずるときは、その旨及び内容

農薬登録申請書第8項に(6)を追加し、以下繰り下げて別紙2とする。

別紙 1

7. 適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
<u>えだまめ</u>	コガネムシ類幼虫 タバエ	4~6kg /10a	収穫30日 まで	5回 以内	作付前: 全面土壌混和 又は 作条土壌混和 作物生育中: 作条処理して 軽く覆土	6回以内  (種子粉衣は 1回以内、 粒剤は5回以内 (生育期の 処理は 4回以内))
	<u>マシクガ</u> <u>カメムシ類</u>			4回 以内	散布	
	<u>シロイモジ</u> <u>マダラメイガ</u> <u>ダイズサヤマハエ</u>					
	<u>フタスジヒメハムシ</u>	6kg/10a		5回 以内	土壌表面散布	
	ネキリムシ類					
<u>畑わさび</u>	ワサビクダアザミウマ ワサビルイロサルゾウムシ	3kg/10a	収穫75日前 まで	2回 以内	散布	2回以内
<u>らっきょう</u>	ネダニ	6kg/10a	収穫21日前 まで			

## 8. 使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ秤量し、使い切ること。
- (2) 畑作物の土壌害虫防除に使用する場合は下記の事項に注意すること。
  - ① 使用薬量は全面処理の場合の薬量であるので、作条処理の場合は処理面積に応じて薬量を減ずること。
  - ② 植付前又は播種前に土壌全面又は作条に処理し、土壌とよく混和すること。なお、タネバエおよびコガネムシ類幼虫に対して作物の生育期に使用する場合は作条処理し軽く覆土すること。
- (3) とうもろこしのアワノメイガの防除に使用する場合には、出来るだけ穂、茎葉にかかるように散布すること。
- (4) とうもろこし及び飼料用とうもろこしに茎葉散布する場合には、部分的に薬剤が集まると薬害を生じるおそれがあるので、葉の付け根など1ヶ所に固まることのないように均一に散布すること。降雨や朝露などで葉上に水滴があると薬害を助長するので、朝夕や降雨の前後には使用しないこと。
- (5) 芝のシバツトガ、スジキリヨトウ、シバオサゾウムシの防除に使用する場合、土壌表面、芝表面にまきむらのないよう散布すること。
- (6) 畑わさびのワサビクダアザミウマの防除に使用する場合は、越冬成虫出現期～第一世代幼虫最盛期に散布すること。
- (7) ビニールハウス等の同一施設内において、収穫期が異なる作物を栽培している場合、本剤を土壌表面散布で使用しないこと。
- (8) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
  - ① ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
  - ② 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- (9) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以上